十七　熱出力並びに炉心における中性子束密度及び温度	連続して	十年間
十八　原子炉本体の入口及び出口における冷却材の温度、圧力及び流量	運転中一時間ごと	十年間
十九　原子炉内における燃料体の配置	配置又は配置替えの都度	取出後十年間
二十　運転開始、緊急遮断及び運転停止の時刻	運転開始、緊急遮断又は運転停止の都度	十年間
二十一　設備の種類別及び相手方別の受渡量並びに受渡しの原因	受渡しの都度	十年間
二十二　設備の種類別の損失の数量及び理由	損失の都度	十年間
二十三　設備の種類別の廃棄の数量及び方法	廃棄の都度	十年間
二十四　設備の種類別の使用の状況の変化	使用の状況の変化の都度	十年間
二十五　設備の種類別の在庫量	毎年一回	十年間
使用済燃料貯蔵事業者		
一　核燃料物質の種類別の受入れ又は払出しに係る在庫変動の量及びその原因	在庫変動の都度	十年間
二　核燃料物質の種類別の事故損失に係る在庫変動の量、当該事故損失の原因及び当該事故損失に係る在庫変動の量等の確認のためにとった措置の内容	在庫変動の都度	十年間
三　前二号に掲げる在庫変動以外の核燃料物質の種類別の在庫変動の量及びその原因	毎月一回（当該月において実在庫量の確認を行う場合にあっては、当該月において当該実在庫量の確認の開始前及び終了後それぞれ一回）	十年間
四　リバッチングの内容及びリバッチング後のバッチ中の核燃料物質の種類別の量	毎月一回	十年間
五　使用済燃料の燃焼度	受入れの都度	十年間
六　使用済燃料貯蔵施設内における燃料体の配置	配置又は配置替えの都度	五年間
七　払い出す使用済燃料の原子炉からの取出しから払出しまでの期間	払出しの都度	十年間
八　核燃料物質の種類別の実在庫量及び実在庫量の確認のためにとった手続に関する事項	実在庫量の確認の都度	十年間
九　核燃料物質の種類別の在庫差	在庫差の確認の都度	十年間

十　設備の種類別及び相手方別の受渡量並びに受渡しの原因	受渡しの都度	十年間
十一　設備の種類別の損失の数量及び理由	損失の都度	十年間
十二　設備の種類別の廃棄の数量及び方法	廃棄の都度	十年間
十三　設備の種類別の使用の状況の変化	使用の状況の変化の都度	十年間
十四　設備の種類別の在庫量	毎年一回	十年間
再処理事業者		
一　核燃料物質の種類別の在庫変動（次号に掲げる事故損失に係る在庫変動を除く。）の量及びその原因並びに核燃料物質を含む溶液の体積及び密度等を測定する機器の精度を維持するためにとった手続	在庫変動の都度	十年間
二　核燃料物質の種類別の事故損失に係る在庫変動の量、当該事故損失の原因及び当該事故損失に係る在庫変動の量等の確認のためにとった措置の内容	在庫変動の都度	十年間
三　核燃料物質の種類別の受払間差異	受払間差異の確認の都度	十年間
四　リバッチングの内容及びリバッチング後のバッチ中の核燃料物質の種類別の量	リバッチングの都度	十年間
五　使用済燃料の貯蔵施設内における燃料体の配置	配置又は配置替えの都度	五年間
六　核燃料物質の種類別の実在庫量、核燃料物質を含む溶液の体積及び密度等並びに実在庫量の確認のためにとった手続	実在庫量の確認の都度	十年間
七　核燃料物質の種類別の在庫差	在庫差の確認の都度	十年間
八　核燃料物質の測定をするための機器の校正記録	校正の都度	十年間
九　試料の採取及び分析の記録	採取及び分析の都度	十年間
十　計量管理上特に管理を必要とする設備への核燃料物質の種類別の挿入量及び挿入の日時	挿入の都度	十年間
十一　再処理施設の操作開始及び操作停止の時刻	操作開始又は操作停止の都度	十年間
十二　設備の種類別及び相手方別の受渡量並びに受渡しの原因	受渡しの都度	十年間
十三　設備の種類別の損失の数量及び理由	損失の都度	十年間
十四　設備の種類別の廃棄の数量及び方法	廃棄の都度	十年間
十五　設備の種類別の使用の状況の変化	使用の状況の変化の都度	十年間
十六　設備の種類別の在庫量	毎年一回	十年間